

**(第51回) 定時総会後の懇親パーティー (7月4日鉄鋼会館)**

【今井理事長】



第51回定時総会終了後、鉄鋼会館9階ホールにて懇親パーティーを開催し、今井理事長の挨拶・乾杯後に引続き和やかな交歓が行われ、上島副理事長の中締めの音頭で閉会となりました。(参加者は80名)

【上島副理事長】

**今井理事長挨拶**

さきほど第51回定時総会が皆さま方のお陰で、無事終了しました。ありがとうございました。今年、アイアン・クラブは創立50周年を迎えます。また、役員改選期でございまして、退任された方は、理事で7名、監事で1名、それからお亡くなりになった理事が3名でございまして。退任された方におかれましては、アイアン・クラブのこれまでの活動に、一番難しい時も含めましてご努力いただきまして大変に感謝申し上げる次第でございます。これからも、今までの経験を活かして、ぜひ、いろいろアドバイスをいただければと思います。

新役員の方は、再任の方が70名、新任の方が監事を含めまして16名でございまして。従いまして、役員は86名となり、いままでよりも5名増えるのでございまして、これからも新しい50年に向けて第一歩を踏み出すわけですから、アイアン・クラブの繁栄に宜しくご協力いただきたいと存じます。

また、先ほどの定時総会の合間に挟んだ理事会におきまして、私が理事長に再任されまして、上島さんと佐々木さんが副理事長に再任されました。どうぞよろしくお願いたします。

毎回申し上げているとおりでございますが、アイアン・クラブは、皆さんが手作りで運営されているわけでございます。500名の個人会員の方々の2万円の年会費で年間1,000万円、それでだいたい事業費を賄っているわけでございます。諸行事への参加者の数は、先ほどの定時総会で説明がありましたように、定例午餐会講演会へのご参加が一番多くて857名、全体の事業活動に合計1,390名の方がご参加になっているということです。ですから、だいたい、1人が2つ以上の行事に参加されておられるということで、非常に活性化していると感じております。

ここで2つ、私の考えておりますことを申し上げます

と、まず一つは名誉会員となる年齢の基準です。当クラブが発足したのは50年前なのですが、平成5年に88才以上の会員を名誉会員と決めました。現在、21名の方が88才以上で全体の4%を占めますが、ちょっと若すぎないでしょうか。今後、名誉会員の年齢を少し上げたほうが良いのではないかと思います。

もう一つは、だいたい500名の個人会員を維持しているわけですが、亡くなられた方を含め年間約50の方がお辞めになる。そのなかで一番多いのは、現役の会員で転勤等でお辞めになる方が約25名おられます。当クラブの現役の方は、あまり定例午餐会講演会などの行事にご参加いただけないのですが、転勤になられた方を、

【ゴルフ会員でよくあるように休会会員扱いにする】  
【会費はいただかない】【また異動で戻ってこられたら会費を払っていただいて各行事にご参加いただく】ということにすると、毎年約25名の方が減るということが少なくなるわけです。そういったことを総務委員会で検討していただけるよう、頼んでおります。

いま私が一番あちらこちらで言っておりますのは日本の財政問題です。財政状況が悪いことの一の原因は社会保障費なのですね。社会保障費のなかでは医療費と介護費が一番多い。現在の平均寿命は、男性が81才、女性が86才です。ところが、健康寿命というのがありまして、これは誰にもお世話にならないで一人で生きられる年齢です。これは男性がなんと72才です。女が75才なのです。男性の平均寿命と健康寿命の差は約9才、女性は約11才の差があります。女性の平均寿命と健康寿命との差が大きいのは、骨粗鬆症で足をいためる人が多いということなのですが、男性の健康寿命が72才というのはあまりにも低いのではないかと私は思います。

定年が55才から60才になったのが、もう20年以上前ですから、やはり、65才定年にして70才までは

働く。そこから先は働いてもいいし、ボランティアで活動してもいい。要するに、世の中に出て行って、いろいろなことに関心を持ち、いろいろな人とつき合うことが、健康寿命を延ばす一番大事なことだそうなんです。例えば中曾根さんは100才でもいまだにお元気です。現在100才以上の方は5万人以上いるようですから、そういう人たちはどうやって生きたかというようなことを、ビッグデータで集めてAIで分析して、こういうことをすれば100才まで生きられるよ、というようなことを医者が発表してくれれば一番いいのですが、やはり、こういう会に出てきて皆さんとつき合っていくことが大事なことだと思います。そういう意味でもできるだけ会員の数を増やしていきたいと感じています。

いま、世界のことを申し上げても、一切わかりません。予測不能な人がやっているわけですから。明日、米国のポンペイオ国務長官が北朝鮮へ行って、8日に日本の河野外務大臣に報告するそうですが、何ら進展はないでしょう。いまは、そういうことを言っても何もわかりません。

一つだけ日本のことで申し上げておきたいと思うのですが、前知事のセクハラ問題で新潟県知事の選挙がありました。これは天下分け目の選挙ではないかと思いましたが、与党の自民党と公明党に対し、野党が全部一本化したのです。小沢一郎さんが共産党へ行ったり、あるいは、日頃、見解を異にする枝野さんのところへ行って一本化しようと汗をかかれ、野党全部を一本化して当たってきたのです。

その結果、3万何千票の差で与党が勝ったのですが、これは、小選挙区は、野党が固まれば一人区では対一になることを示しています。それが野党側が固まらないものだから、いまのように自公が圧勝していることにな

ります。

今度の選挙で一番困ったのは神津君だと思うのです。総評系は全部、共産・立憲につき、原子力発電は争点にはしないようにしたのですが、やはり一番大きな問題で、電力総連は自主投票でみなそちらにいきましたから、連合が割れたということで、これからもそういうことは起こるでしょう。

私としては、原子力産業協会をやっていますから、今度の選挙結果は本当にありがたい。新知事の任期中には、おそらく、柏崎刈羽の原子力は動かないと思うのですが、これが稼働しないと2つ問題があるのです。一つは、日本のいまのエネルギーの自給率は10%を割っているという事実です。例えば、太陽光発電でも、この前3日間雨が降ったら止まったのです。東京都は危うく停電騒ぎになったのですが、あちらこちらから応援を受けてかうじて停電を免れました。

もう一つは、柏崎刈羽が動かないと、東京電力はもう利益が出ません。今後、福島第一発電所の廃炉費用は、東京電力が16兆円を稼いで支払うことになっているのですが、柏崎が動かなければこれが全部国有化になり、そうすると廃炉費用等も全部、税金で賄うことになっていきます。そういうことになりますから、ぜひ、時間がかかっても柏崎刈羽は動かさなければいけない。そのためには知事が柏崎刈羽を動かす方向の人でなければいけない。いま、彼自身は動かすということを考えていますが、選挙の公約上はなかなか動かないと思います。長くなりますので、乾杯に移りたいと思います。

アイアン・クラブが新しい50年を迎えますますます発展いたしますように、また、ご参集の皆様方のご多幸・ご健勝を祈念して乾杯したいと思います。ご唱和願います。乾杯！









